

【防衛大臣賞】整備計画局情報通信課

背景 業務効率化には、業務に直結する情報リテラシーの向上が重要な課題である。このため、情報リテラシー向上のための取組を実施。

①パソコン講座（基礎編）の作成・教育
 職員のパソコン操作の技能向上を分かりやすく図るため実施（よく利用するOffice系のエクセル、ワードの基礎的なテクニックで、業務に有益かつ直結するものの教育）。

(例)

複数行の文字の均等割り付け

- 「Alt」を押しながら、マウスで複数行の文字列をドラッグして選択
※ 右端は、任意の箇所まで選択して構わない
- 上部のメニューバーの拡張書式 をクリックし、「文字の均等割り付け」を選択
※ 複数行を選択する場合には、「均等割り付け」は使用しない
- 「文字の均等割り付け」ウィンドウに任意の字幅を入力して、OKを押す（左図では12字に設定）
複数行まとめて均等割り付けするのに便利！一行だけだったら、文字列（改行マークを含まず）を選択した上で、ここをクリック！

揃った！
改行マークは選択しない！

②スキルチェックテストの作成・実施
 習得した技術の定着を図るためスキルチェックテストを実施し、職員が自分で正誤の確認や採点を実施したり、職員の学習状況を把握できるように工夫。

(例)

パソコン講座スキルチェックテスト

問1 ズームを拡大するショートカットキーは？

A: [Shift]を押しながら「↑」を押す
 B: [Shift]を押しながらマウスのホイールをスクロール
 C: [Ctrl]を押しながらマウスのホイールをスクロール
 D: [Shift]を押しながら「↓」を押す

問1 A B C D

自己採点可能

③情報リテラシー窓口（アドレス）の設置
 課内から省内へ広く展開するため、職員の意見を募ったり、疑問点に対する回答を行うなど、職員とのインタラクティブな場を設定。


④職員の意見募集・反映

意見を反映し、質の高い教材やeラーニングを目指し、資料のアップデートを行った。

効果 「これからも業務効率化のためのヒントを教えてください」と、「パソコン講座基礎編Ⅱや情報保証講座等を作成していただけることを期待」などの高評価が得られた。

評価 IT化の中、各人の情報リテラシーの向上が求められるところ、従来、基礎的な機能の操作方法についての教育がなかった。今般の新たな取組により、職員のパソコンスキルが定着し、これにより業務効率化につながることはできていたことは評価されるものである。また、省全体に広く展開することができるものであり、省全体の情報リテラシーを向上させ、業務効率アップに直接的につながると考えられる。

【防衛副大臣賞】海自横須賀地方総監部

背景	<p>「防衛省における女性職員活躍とワークライフバランス推進のための取組計画」に基づき、業務効率の向上と仕事と家庭の両立を図り、ワークライフバランスを実現し、安心して任務に邁進する環境を構築する取組を実施。</p>	
取組	<p>(1)働き方改革</p> <p>①「横須賀地区働き方改革推進委員会」を設置</p> <p>②「声を聴く会」により、前任伍長が部隊に赴き、意見聴取から対応策の検討</p> <p>③ 部隊の特性を考慮した監察（働き方改革）の設定</p> <p>④独自に発行した「働き方改革ニュース」による啓発メッセージの発信</p> 	<p>(2)女性施策</p> <p>①長期的経歴管理（30年線表）の促進 通常、結婚・出産等のライフイベントを含めた生活設計と補職要望については10年から15年までの経歴管理を行っているが、夫婦共に艦艇職域の准曹士自衛官の場合、30年の経歴管理を行い、補職を考慮</p> <p>②艦艇職域復帰の促進 育休後に艦艇に復帰するには、訓練を重ねて得られる技能等への不安により、艦艇復帰にとまどう場合があるため、段階的に訓練を実施</p>
効果	<p>「働き方改革ニュース」等の取組が大変参考になった」という評価が得られた。また、艦艇の現場へ一つ一つ丁寧に説明することにより、育休後の人を艦艇へ復帰させることの大切さが理解された。</p>	
評価	<p>具体的な検討から定着までを実施する環境を構築し、働き方改革や女性施策の多数の取組を実施したことを評価。</p>	

【防衛副大臣賞】空自第5航空団整備補給群修理隊エンジン小队

背景	<p>残業時間が増加していることから、小队内で業務改善すべき問題点のアンケート及び分析を実施し、テーマを選定し、整備行程中どこで時間を要しているか分析し、最も時間を要している作業を選定。</p>	
取組	<p>①整備手順書</p>  <p>電子技術指令書からの整備情報検索時間を要していることから、整備手順書の作成</p>	<p>②整備専用消耗品ボックス</p>  <p>消耗品の準備に時間を要していることから、整備専用消耗品ボックスの作成</p>
効果	<p>①の使用により、電子技術指令書からの整備情報検索時間が52%減少</p> <p>②の使用により、消耗品準備時間が88%減少</p> <p>これにより、エンジン1台当たりの平均残業時間が前年度比1.7時間も短縮 ⇒年間51時間の残業時間削減(試算値) (昨年平均:2.5時間 ⇒ 今回の平均:0.8時間)</p>	
評価	<p>小队が一体となって、業務改善すべき問題点の解決に取組、テーマを選定し、整備手順書の作成や整備専用消耗品ボックスの作成により、作業の確実性と効率性を同時に大幅に向上させたことを評価。</p>	